

高齢者インフルエンザ予防接種を受ける前に(説明書)

- ★インフルエンザは感染力が強く、症状は普通のかぜに比べて高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等の全身症状が強く、気管支炎や肺炎等を合併し、重症化することもある病気です。
- ★インフルエンザワクチンは、発病を予防することや、発病後の重症化や死亡を予防することに一定の効果があるとされています。
- ★接種を受ける法律上の義務はありませんが、接種を希望される場合は、下記の注意事項をよく読み、十分に理解された上で接種してください。接種にあたってはご本人の意思確認と署名が必要となります。

1. 一般的注意事項

- ・予防接種を受ける前に、必要性や副反応についてよく理解しましょう。
- ・接種を受けてからインフルエンザに対する免疫がつくまで2週間程度かかり、効果が十分に持続する期間は約5カ月間とされています。
- ・気になることや分からないことがあれば、担当の医師や看護師等におたずねください。
- ・説明を受けても十分に理解できない場合は、接種をお控えください。

2. 予防接種を受けることができない方、接種に注意が必要な方

接種できない方	接種に注意が必要な方
● 明らかに発熱している方 ● 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方 ● インフルエンザワクチンに含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたことがある方 ● その他、予防接種をすることが不適当な状態と医師が判断した方	● 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患等の基礎疾患がある方 ● 過去にけいれんを起こしたことがある方 ● 免疫不全と診断された方、近親者に先天的免疫不全症の人がいる方 ● 予防接種で接種後2日以内に発熱及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を起こしたことがある方 ● 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患のある方 ● 薬の投与または鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のもので皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある方

3. インフルエンザワクチンの副反応、予防接種を受けた後の注意事項、健康被害救済制度について

主な副反応 (厚生労働省ホームページより)	接種部位：発赤、腫脹、疼痛 その他：発熱、頭痛、悪寒、倦怠感
--------------------------	-----------------------------------

- ・接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。
- ・接種当日は、激しい運動は控え、接種部位を清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。
- ・予防接種の副反応による健康被害は、極めて稀ですが、不可避免的に生ずるものです。定期接種により健康被害が生じたものと厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済制度の給付の対象となります。

4. 他のワクチンとの接種間隔

- ・医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時接種することができます。

<お問い合わせ先>

仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」

☎ 022-398-4894



[受付時間] 8:00~20:00(年中無休)

(土曜・日曜・祝休日・年末年始(12月29日~1月3日))は17:00まで)

※個人情報に関わるお問い合わせや専門的な内容は担当部署にお取り次ぎいたします

英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語にも対応

●よくある質問と回答(FAQ)は

こちらの二次元コードをご覧ください